

第4回筑波大・NIMS 連係強化研究会

筑波大学および(独)物質・材料研究機構(NIMS)による連係大学院では、筑波研究学園都市の地の利を生かした学独連携による大型イノベーション創出の加速を狙いとして、平成21年度より選抜研究チームによる連係研究の強化を進めてまいりました。平成22年の本年、新たにスタートした“つくばナノテク拠点産学独連携人材育成プログラム”の支援のもとで、新チームが加わった新体制で本事業が進行しております。ここに、下記の内容で第4回筑波大・NIMS 連係強化研究会を開催いたします。

◆◆連係研究の新体制図は、[こちら](#)をご覧ください。◆◆

日時:平成22年12月9日(木)10:00~15:45

場所:筑波大学 総合B棟 B0112室 [キャンパスマップ\(pdf\)はこちら](#)

交通:NIMS マイクロバス 本部棟玄関前停車 [時刻表\(pdf\)はこちら](#)

または市内循環バス

参加:無料

プログラム:

挨拶

10:00~10:05 村上浩一(筑波大 数理物質科学研究科長)

1. “表面プラズモンの光増強評価と設計”

10:05~10:25 宮崎英樹(NIMS グループリーダー)

「光科学を切り拓くSEM 観察下マニピュレーション技術」

10:25~10:45 久保敦(筑波大助教)

「フェムト秒時間分解顕微鏡法による表面プラズモンの動的可視化」

2. “新規金属系生体材料の開発”

10:45~11:05 金熙榮(筑波大准教授)

「生体用チタン基超弾性合金の開発」

11:05~11:25 山本玲子(NIMS グループリーダー)

「金属系生体材料の細胞適合性評価」

3. “酸化物磁性薄膜の物性とスピン波応用”

11:25~11:45 柳原英人(筑波大准教授)

「スピネル酸化物薄膜のエピタキシャル成長と磁気異方性」

11:45~12:05 葛西伸哉(NIMS 主任研究員)

「強磁性体におけるスピン波輸送現象」

12:05~13:15 昼食(70分)

4. “新規ナノ材料の原子直視観察”

13:15～13:35 宮澤薫一 (NIMS グループリーダー)

「フラーレンナノウィスカーの成長機構と構造」

13:35～13:55 木塚徳志 (筑波大教授)

「ナノカーボン材料の合成と原子直視観察」

5. “ナノ構造の SPM 評価と合成”

13:55～14:15 Qian Cheng (NIMS)

「スーパーキャパシター用3次元ナノ構造電極の制御と新機能発現」

14:15～14:35 藤田淳一 (筑波大教授)

「低次元炭素系構造体の合成、操作、物性」

6. “次世代太陽電池材料の光学的・電気的評価”

14:35～14:55 末益 崇 (筑波大教授)

「シリサイド半導体による高効率薄膜太陽電池を目指して」

14:55～15:15 関口隆史 (NIMS 教授)

「EBIC/EBSD によるシリサイドの特性評価」

15:15～15:45 懇談・交流会 (30 分)

この件に関する問い合わせ先 (作業部会):

NIMS: 志田憲一 (029-859-2021)

渡辺明男 (029-860-4372)

筑波大: 佐野伸行 (029-853-6479)

黒田真司 (029-853-5365)

浅川潔 (029-853-5646)